

委員会会議録

会議名	平成23年度 第2回 適正化事業運営委員会
開催日時	平成23年11月28日(月) 13:30～16:00
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F 研修室
出席者	委員12人 事務局3人

協 議 内 容

開会に当たり、岡田本部長から11月24日に開催された全日本トラック協会総務委員会の報告を含め挨拶があり、その後、安田委員長から議事進行について協力依頼され、議長となって議題に入った。

1. 議 題

(1) 平成23年度事業実施状況について

適正化事業巡回指導結果について

別紙資料について事務局より説明。

次の意見等が出された。

- ・5両未満の事業者について法を遵守させる方法を考えて行かなければならない。運賃問題に繋がっている。(最低車両数問題)
- ・利用運送事業者への対応策の検討。

ナスバネット導入支部の運営状況等について

別紙資料について事務局より説明

各支部からの報告・意見等

大津支部

- ・問題なく実施出来ている。現在実施日を絞って行っているが、要望があれば日数を増やす方向で考えている。

湖南支部

- ・初任診断が実施出来ないかの要望が多い。
- ・Gマークの申請が近づくとも数が増える。

甲賀支部

- ・支部の費用負担が増えている。
- ・事故対策機構の土曜日の診断日を増やして欲しい。

湖東支部

- ・実施に向けて具体化していきたい。

彦根支部

- ・初任診断の実施を検討していきたい。

湖北支部

- ・現状800円を受診者に負担してもらっている。
- ・平日は受診各社で対応してもらって、土日は事務局で対応している。
- ・初任診断も実施している。

その他の意見等

- ・初任診断も一般診断と内容は同じだが、カウンセリングが必要である。交通費を負担すれば各支部での実施が可能である。との事務局からの説明を受けて、来てもらえる最低人数等の条件を事務局で確認する。

会員拡大について

別紙資料について事務局より説明

各支部からの報告・意見等

大津支部

- ・対象2社上げているが、まだ回れていない。
- ・入会手続き等詳細の説明が難しい。

湖南支部

- ・ 12月で5社目が入会予定。
- ・ 自ら入会したいと思えるようなPR活動に力を入れていくべきである。
- ・ 荷主からの入会を勧めてもらう。

甲賀支部

- ・ 入会の窓口を協会にして、入会の意思表示があってから支部で動くようにしてもらいたい。支部の負担が多い。
- ・ 入会までの流れを再度確認したい。(後日フローチャートを送付)

湖東支部

- ・ 電話で連絡はとっているが、なかなか進まない。

彦根支部

- ・ 定例会での情報交換(非会員について)を行っている。

湖北支部

- ・ 2社を対象に回る予定。
- ・ 予防対策として、会費未納事業者も巡回する。
その他の意見等
- ・ 荷主からの入会PRをして貰う方法として、まずは荷主団体との交流の場を検討していく。
- ・ 運送事業者も利用運送をする際は荷主になるので、利用する方から非会員がいれば入会を勧める。
- ・ 目標数は62のまま押し通して欲しい。

上記意見等を踏まえ、まず、非会員に対して平成24年2月21日に入会説明会を開催する。案内締め切りを2月10日とし、支部長も出席のもと、参加者(非会員)について当日面談を行う、また、入会のフローを作成することで決定。なお、参加者(非会員)については、交通費を協会負担することで承認。

(2) 平成23年度事業計画について

「運輸安全マネジメントの確立に向けて」講習会の開催(案)

資料について事務局から説明

平成24年1月24日(火)資料通り開催することで決定。

会員・非会員のメリット、デメリット

資料について事務局から説明

会員拡大の際の資料として、内容精査の上活用することに決定。

(3) その他

適正取引パートナーシップ会議の開催(運輸支局主催)

資料について事務局から説明。

安田委員長、中西委員が出席する事で決定。

参考資料(運行管理者ガイドブック)

事務局より説明

次回委員会の開催は平成24年2月13日(月)

以上